



いまさら聞けない

# カタカナ用語集

最近よく聞くけど、実はいまいち意味が分からない。  
そんなカタカナ用語の意味や使い方を解説します。

## 職場で飛び交う!?…ビジネス用語編

### ✓ ローンチ [語源] launch(打ち上げる、開始する)

企業が、新しい商品やサービスを世に出すこと。「リリース」と似た意味ですが、特にIT業界で新しいサービスやWebサイトを公開する時に使われます。「話題になっていたWebサービスがローンチされたけど、アクセスが集中して利用できなかった」なんて経験は、ありませんか？

こんな  
ふうに  
使えます

- 名作ゲームの最新作が、2カ月後にローンチされるらしい。
- この間ローンチされたアプリを、さっそく使ってみました。

### ✓ イノベーション [語源] innovare(新しくする、 新しいものを取り入れる)

革新的な技術やアイデアによって新しい価値を生み出し、社会を大きく変えること。例えば今開発されつつある「自動運転」は、人を運転から解放し「目的地に着くまでの自由時間」という新しい価値を生み出します。今となっては身近なスマートフォンや、百円ショップというビジネスモデルも、イノベーションの一つです。

こんな  
ふうに  
使えます

- スマートフォンというイノベーションが、人々のライフスタイルを一新した。
- 人手不足を根本的に解決するためには、イノベーションを起こさなければいけない。

### ✓ インバウンド [語源] inbound(内向きの、内側に向かう)

観光業界でよく使われる、「外国人が自国を訪れること」を指す言葉です。コロナ禍の渡航制限によってインバウンドは激減しましたが、現在は観光地も賑わいを取り戻しています。一方で、一般的なビジネスシーンでは意味が異なり「お客さまから届く電話やメール」を指すことも。「外から内へ入ってくる」という意味が共通していますね。

こんな  
ふうに  
使えます

- インバウンドに対応するため、多言語版の案内板を作ろう。
- この部署では、電話対応などのインバウンド業務を行っています。

